

(書式 4 - 3)

祭祀財産承継者指定の調停申立書

家事調停申立書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇家庭裁判所 御中

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 〇 〇 〇 〇 印

祭祀承継者指定調停申立事件

1 当事者の表示 別紙のとおり

2 申立の趣旨・実情 別紙のとおり

貼用印紙額 金〇〇円

予納郵便切手 金〇〇円

当事者の表示

本籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
申立人 〇〇〇〇
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生



本籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 *s a h i C h u o*
住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
相手方 〇〇〇〇
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生

(被相続人の表示)

本籍 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
最後の住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号
被相続人 〇〇〇〇
死亡年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

申立の趣旨

被相続人〇〇〇〇の祭祀財産（系譜・祭具・墳墓）の承継者を相手方に指定する。

との調停を求めます。

申立の実情

- 1 被相続人は、平成〇〇年〇〇月〇〇日に死亡し、その相続人は、申立人〇〇〇（長女）と相手方（長男）でした。
- 2 申立人は、その後、婚姻をして△△市△△町で生活をしており、祭祀財産の承継は困難です。
- 3 相手方は、長年にわたって被相続人と同居生活をしており、被相続人の墳墓も△△郡△△町にありますので、相手方の住所に近い場所にあります。
- 4 被相続人の祭祀の承継は、相手方が行なって、申立人がこれに協力するのが一番妥当な方法と思います。しかし、相手方は、これを拒否しています。今日の社会においても、相手方（長男）が祭祀を承継するのが通例かと考えますので、祭祀の承継者の指定を求めるために、本申立に及ぶ次第です。

添付書類

戸籍謄本

○通

以上

解説

(申立の趣旨)

長女は婚姻しているので、長男に祭祀の承継を求める申立です。

(申立の実情)

- 1 相続人関係を明らかにする内容です。
- 2 3 申立人は、婚姻をしております（姓を異にします）、相手方（長男）が承継することが妥当との説明です。
- 4 しかし、被相続人の長男は、その承継を拒否していますが、申立人としては、結婚をして姓の変った申立人でなく、相手方が今後の祭祀を行なっていくことが他の親族との関係も考慮して妥当と考えた申立となっています。